



12・2・19(日)
南NEWS NO66

優勝 おめでとう！！ 新春フットサル 少女 南チームA



みんな 笑顔が素敵だよ！！

第38回新春フットサル大会 少女A<6年生以下>

(1/14分館) 南チームA 対 なかのGUTTEN 14-0 (前半7-0)

○テーマ 『楽しいサッカーをする』・『全員点を決める』

得点 片寄優さん(5)、漆間花さん(4)、気仙さん(2)、滝本さん(2)、橋本さん

今年もこの季節がやってきました。毎年恒例の新春フットサル大会が始まりました。

6年生にとっては本当の意味での公式戦最後です。ここでいい成績で終わるためにもチーム一丸となって戦えるように試合の目当ては『楽しいサッカーをする』・『全員で得点を決める』にしました。

今年始まって最初の試合。また、久しぶりのフットサルで室内のふだんやりなれない床のピッチと緊張があったのでしょうか前半の立ち上がりはとて悪く、ゴール前でシュートを打つもキーパーの正面や枠外にボールが行きなかなか得点が取れませんでした。

しかし、前半2分片寄優さんが得意のドリブルから得点を取り、この得点をきっかけに怒涛のゴールラッシュが始まります。

前半特に印象深いプレーは漆間さんのパスから橋本さんの得点シーンです。何度かフットサルの練習で「しっかりボールを足の裏で止める」という練習をどの学年もしつつこくやってきましたが試合中に実戦してくれた人はいませんでした。しかし橋本さんは漆間さんからの絶妙なパスをしっかりと足の裏でしっかり止めて得点を決めました。このようなプレーを無意識でもできるのはすごいと思います。

この橋本さんのプレーは是非とも他の人も見習ってほしいと思います。後半は体も温まってきて、かなりフットサルらしいサッカーになってきました。気仙さんを中心に、漆間さん片寄優さんとの華麗なパスワークからの得点や、前半惜しい得点シーンが多かった滝本さんもあまり強いシュートではありませんが正確に枠をとらえる得点。

また、得点こそは決められませんでしたでしたが積極的に得点を決めようとする意識を持ってプレーしていた伊藤(瑚)さん。相手のカウンター攻撃を片足や片腕でファインセーブしてくれた安井さん・・・とこの試合では南チームA全員が目標としていた『楽しいサッカー』をしていたのではないのでしょうか。

試合後、『楽しかった?』と聞いたら『楽しかった』と選手から聞こえたのはとてもよかったと思います。このメンバーで試合ができるのもあと少しです。1つ1つの試合を大切に後悔しないサッカーをしましょう！

そしてこの新春フットサル大会優勝目指して頑張りましょう！（長岐コーチ）



(1/29分館) 南チームA 対 あたご・ミッキー 12-0

○テーマ 『楽しいサッカーをする』・『全員点を決める』

得点 漆間花さん(7)、気仙さん、滝本さん(3)、橋本さん

きさらぎ杯との兼ね合いで6年生6人だけで戦いました。先発メンバーも自分たちで決めさせてスタートしましたが、気仙さんのゴールで幕開けすると押し寄せでどんどん加点しました。やはり6年生にもなると前ばかりとか無理に攻めることが少なく、落ち着いてボールを回していました。この試合はチームワークも良く声もよく出ていました。(内田コーチ)

(準々決勝 2/4分館) 南チームA 対 南大沢FCトラウさぎ 7-2 (前半3-1)

○テーマ ゴールを狙う、質の高いコミュニケーション

得点 片寄優さん(5)、漆間花さん(2)

守備に課題を残す試合でした。基本的なことです。シュートをコースを抑える、簡単に飛び込まない、第1DFを決めるが非常に中途半端でいつ失点をしてもおかしくない場面がたくさんありました。大声援で聞こえづらいとは言えお互いの声かけも不十分で、ポジションが重なったり、意図不明な不容易なパスもたくさん見られました。攻撃面でよかったところは切り替えの速さ。ボールを奪ってからシュートに持ち込むまでの時間が短く、相手に守備をやらせる余裕を与えませんでした。

これでベスト4進出。次はいよいよ、南対決。チームAとチームK、いったい決勝に進むのはどちらかな？ (飛田コーチ)



(準決勝 2/5分館) 南チームA 対 南チームK 8-1 (前半3-1)

○テーマ 『楽しいサッカーをする』・『全員が得点』・『質の高い声だし』・『判断の速いパス』

得点 片寄優さん(3)、漆間花さん、気仙さん、滝本さん、橋本さん、伊藤瑚さん

ついにフットサルも終盤になってきました。決勝進出を決める準決勝での相手は同じチーム同士での戦いになりました。以前、矢上先生から「昔の南のフットサルの準決勝や決勝はよく南同士で戦ったことがあるんだよ」というお話聞いたことがあります。コーチたちも二手に分かれ何か複雑な空気になりました。しかし、選手たちは試合前のミーティングでは「同じチームでもフットサルは違うチームだから手加減はしないよ」と勝負に対する高い意識を感じられました。試合内容は1つ1つの得点には触れませんがこの試合でよかったことを3つ上げたいと思います。

1つ目は、前半開始2分。これぞフットサル、さすが高学年のサッカーと思わせる得点シーンがありました。気仙さん→片寄優さん→漆間さん→片寄優さん→滝本さんがシュート。このシーンはすべてがダイレクトパス。相手は1歩も追いつくことができませんでした。このプレーは普段のサッカーでは見れないフットサルならではのプレーではないかと思いました。さすがです！

2つ目は、前半にオウンゴールをしてしまった橋本さん。ハーフタイムにいつもと違った橋本さんの姿が・・・しかしチームのみんなが「大丈夫だよ。仕方ない。よくあるから気にしない気にしない」など橋本さんを慰めているシーンはさすがお姉さんたちだなと思いました。しかし、後半7分。滝本さんからの綺麗な弧を描いたコーナーキックから頭でドンピシャに合した見事な得点。オウンゴールでくじけずにプレーをした成果だと思えます。

最後の3つ目は、チームAの目標であった『全員が得点を取る』この目標がついに達成されました。予選、準々決勝となかなか得点が取れなかった伊藤瑚さん。味方のシュートミスをうまく合わせ見事な得点でした。伊藤瑚さんが得点を決めた

瞬間チーム皆で喜び合いました。これを機に今後も頑張ってもらいたいと思います。そして、このチームの守護神である安井さんは最後までゴールを守り相手の強烈なシュートや、絶妙なタイミングの浮き球のシュートをセーブしたりと守護神としてふさわしいプレーを見せてくれました。

さて、次はいよいよ決勝戦です。チーム K の人たちの気持ちを背負って決勝戦は優勝目指して頑張りましょう。(長岐コーチ)

(決勝 2/11 本館) 南チーム A 対 南大沢 FC まっくす 11-1 (前半 5-0)
○テーマ 『楽しいサッカーをする』・『広いピッチを有効に使うパスサッカー』・『全員得点』

得点 片寄優さん (5)、漆間花さん (2)、橋本さん (2)、滝本さん (2)

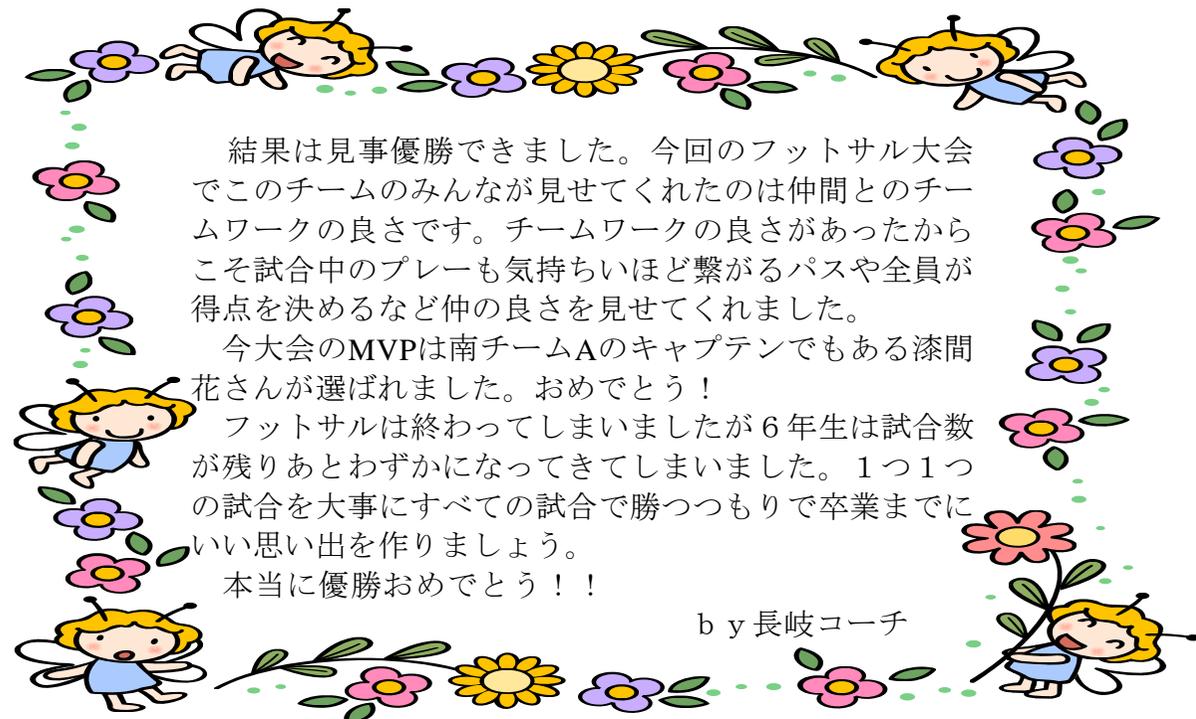
目標としていった『優勝』が目前にきました。ついにフットサルも大詰めです。前回の準決勝で戦ったチーム K のみんなの思いを背負って挑みました。

ふと思ったのは4年前の出来事。まさにこの会場で決勝戦をしました。その時の選手の姿は今でも鮮明に覚えています。ガチガチに固まってしまった選手は相手の巧妙な作戦に飲まれてしまい、大量にシュート打つもなかなか得点できずに準優勝でした。

このような場面で緊張しないのは無理ですが、緊張対策のために試合前の入場では全員が手をつないで入場することに決まり入場の際には選手全員が笑顔で手をつなぎながら明るく入場してくる姿を見てベンチサイドは安心しました。

試合開始早々、チーム A の得点のキーマンである片寄優さんの得点から始まると2分から3分おきに橋本さん、漆間さん、滝本さんの得点で11点量産しました。また、気仙さん、伊藤瑚さんは得点こそ決められませんでした。華麗なパスワークやアシストをし見事な得点へのつながりを見せてくれました。

そして、このチームの守護神である安井さんは安定的な守備を見せてくれました。今大会では失点の数が少なかったのは安井さんの好セーブのおかげではないかと思えます。



結果は見事優勝できました。今回のフットサル大会でこのチームのみんなが見せてくれたのは仲間とのチームワークの良さです。チームワークの良さがあったからこそ試合中のプレーも気持ちいほど繋がるパスや全員が得点を決めるなど仲の良さを見せてくれました。

今大会のMVPは南チームAのキャプテンでもある漆間花さんが選ばれました。おめでとう！

フットサルは終わってしまいましたが6年生は試合数が残りあとわずかになってきてしまいました。1つ1つの試合を大事にすべての試合で勝つつもりで卒業までにいい思い出を作りましょう。

本当に優勝おめでとう！！

b y 長岐コーチ

むさしの Jr リーグ第3節 (3年) の試合結果 2.11(土) 東大和 9 小
<チームのめあて> 1)アプローチのスピードを速くする。2)技を使って相手にぶつけないドリブル。3)声を出す。4)どんな時でもあきらめない。

<達成度> アプローチのスピードについてはだいぶ意識できて来ましたが、まだ相手にボールを蹴らせてしまうことがあるので、更に意識を高くする必要があります。また、そのために予測することの意識も必要だと思います。但し、良い時はしっかりドッチングができていて、高い位置でボールを奪うことができていたと思います。

相手にぶつけないドリブルについては、足の裏の技や、ラン・ウィズザ・ボールなど、積極的にチャレンジしていました。但し、スペースへの意識が低く、混雑したところにドリブルしてしまうことが多かったように思います。ボールを持っていない時に周りの状況をもっと把握する必要があります。

声については、やや少なかったように思います。ベンチも含めもっと声を出す意識が必要です。

あきらめないプレーについては、ほぼ全員の選手が最後までがんばっていました。後はボールを取られた後の切替を早くする意識を高めたいと思います。

○南八王子 3-0 本宿 (前半:2-0、後半1-0)、得点者:前川君、吉田君

この日初戦の相手は、前節でも対戦して南が負けている本宿です。

今回は選手全員の「2度は負けない！」という気持ちが試合に現れました。試合開始から南は積極的に行き、直ぐに主導権を握る展開となります。早いアプローチで高い位置で相手からボールを奪えており、ボールを奪った後も技を使ったドリブルで何度も相手ゴールに迫ります。

開始 10 分にドリブル突破した佐藤君がペナルティエリア内で倒され PK をもうと、それをキッカー前川君が冷静に決め南が先制します。その 4 分後、前川君自身が左サイドをドリブル突破し、追加点を奪います。

後半に入っても南の勢いは止まらず、ほぼ相手陣地内での展開となります。そんな中、後半 8 分に相手ディフェンスへのバックパスに佐藤君がつめ、高い位置で行いボールを奪うとキーパを冷静に見てシュート！そのボールがわずかにゴールからそれてしまうと思われた瞬間、逆サイドから猛ダッシュしてきた吉田君がそのボールを押し込み、ダメ押しの 3 点目を奪います。その後も攻めますが、最終的に 3-0 で試合終了。見事に前節での雪辱を晴らすことができました。ディフェンスも集中していて、相手のカウンターも完全に防いでいました。

○南八王子 2-1 大和北 (前半:1-0、後半0-1)、得点者:山田君

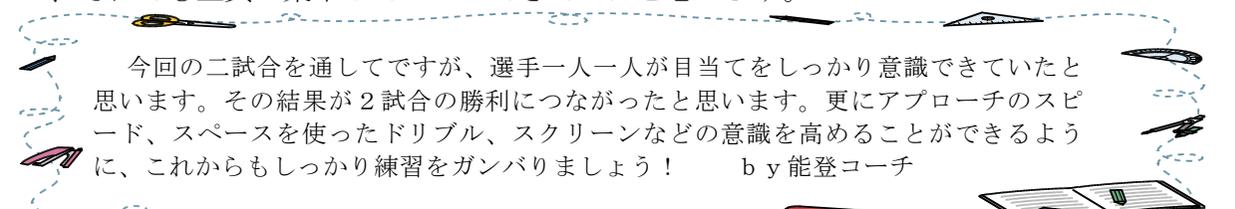
二試合目も試合開始から南は積極的に相手ゴールに迫ります。すると開始 4 分、相手ゴールキックを奪った山田君が右サイドから冷静に決め、先制点を奪います。

更に前半終了間際、コーナキックからのこぼれ球を再び山田君が押し込み、前半を 2-0 で折り返します。

後半に入ると相手チームも必死で南ゴールに攻め込みます。しかし、早いアプローチとドッチングで、相手の攻撃を食い止め、ドリブル突破をチャレンジします。

後半は、一進一退の攻防が続き、攻守共に選手全員が集中していました。そのまま試合終了かと思われた後半 14 分、相手の怒涛の攻撃をなんとかしのいでいたのですが、相手選手にドリブルでかわされ 1 点返されてしまいました。

試合はそのまま終了し 2-1 で勝利することができました。最後失点してしまいましたが、それでも全員が集中してプレーできていたと思います。



今回の二試合を通してですが、選手一人一人が目当てをしっかりと意識できていたと思います。その結果が 2 試合の勝利につながったと思います。更にアプローチのスピード、スペースを使ったドリブル、スクリーンなどの意識を高めることができるように、これからもしっかりと練習をガンバリましょう！

b y 能登コーチ